



明日の
しあわせを
化学する



東ソー株式会社

個人投資家様向け会社説明会

広報・IR室長 永益 信之

2024年9月25日

東証プライム

4042

1. 東ソーとは
2. 当社の特徴・強み
3. 中長期経営戦略
4. 当社株式の魅力

東ソーとは

化学で多彩な製品群を社会に提供

東ソーとは

設立89年を迎える日本有数の総合化学メーカー



設立	1935年2月11日
本社所在地	東京都中央区八重洲2-2-1
登記上本店	山口県周南市開成町4560
代表取締役社長	栗田 守（くわだ まもる）
資本金	552億円（2024年3月末現在）



創業

1935年



従業員数

14,394人^{*1}



売上高

1兆56億円^{*2}



営業利益

798億円^{*2}



研究開発費

220億円^{*2}



特許出願件数

521件^{*2}



国内グループ会社

60社

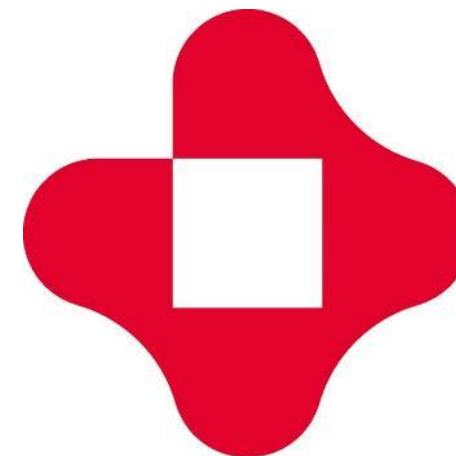


海外グループ会社

47社

*1：従業員数：2024年3月末時点

*2：売上高、営業利益、研究開発費、特許出願件数：2023年度



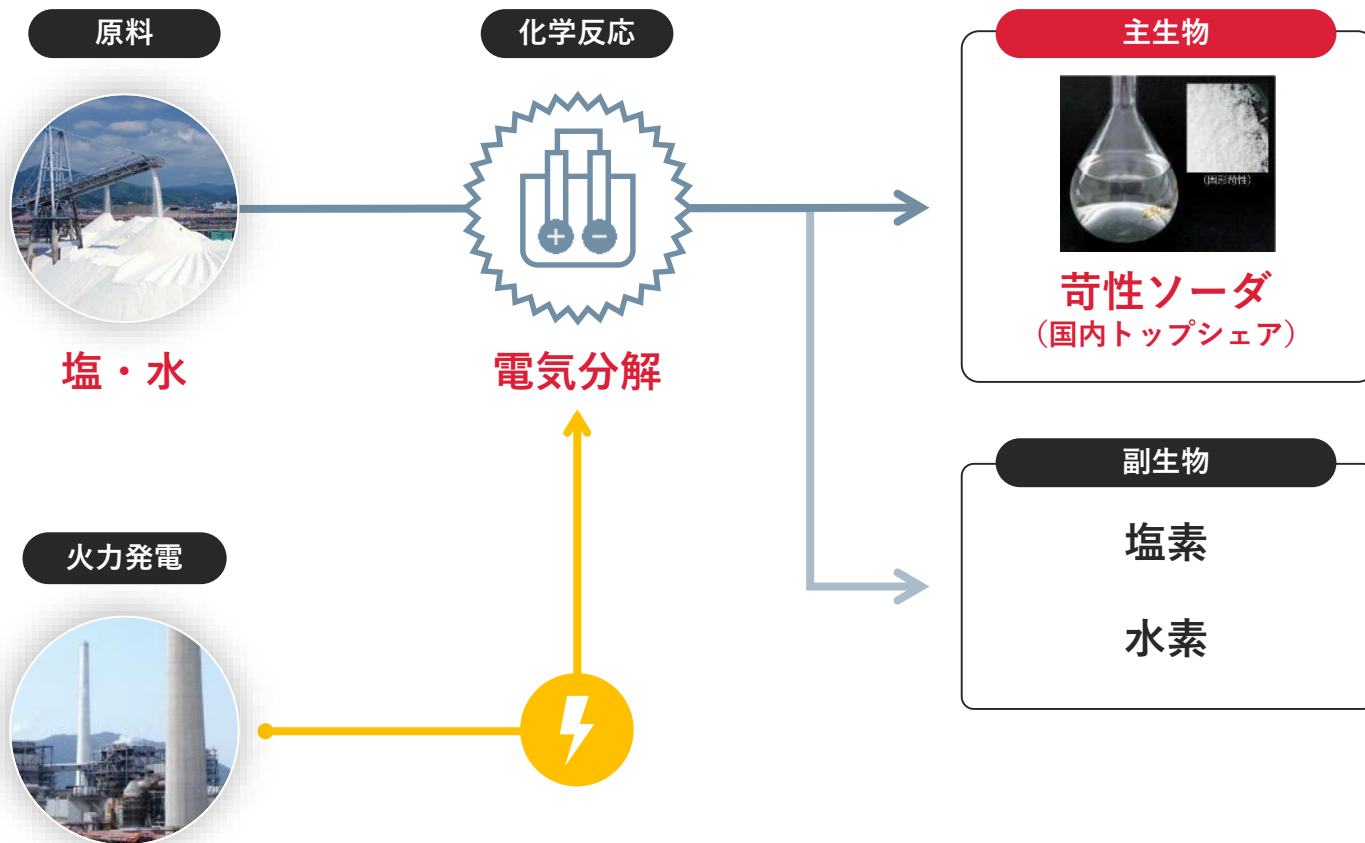
TOSOH



代表取締役
社長執行役員
栗田 守

■ 幅広い用途に展開、**社会の発展に貢献し、産業に不可欠な素材**

■ 社会構造の変化により**用途も新陳代謝する、なくなる製品**



苛性ソーダ

(水酸化ナトリウム/ NaOH)

強アルカリ性：溶かす・洗浄する等の機能をもつ

主な用途

需要漸減

上下水道排水中和

紙パルプ蒸解漂白

需要伸張

紙おむつ原料 (衛生環境の向上)

アルミナ精錬 (車両機体の軽量化で省エネ)

LiB正極材 (電化推進で生活の質を向上)

事業規模を拡大しソーダ工業から総合化学メーカーへ発展

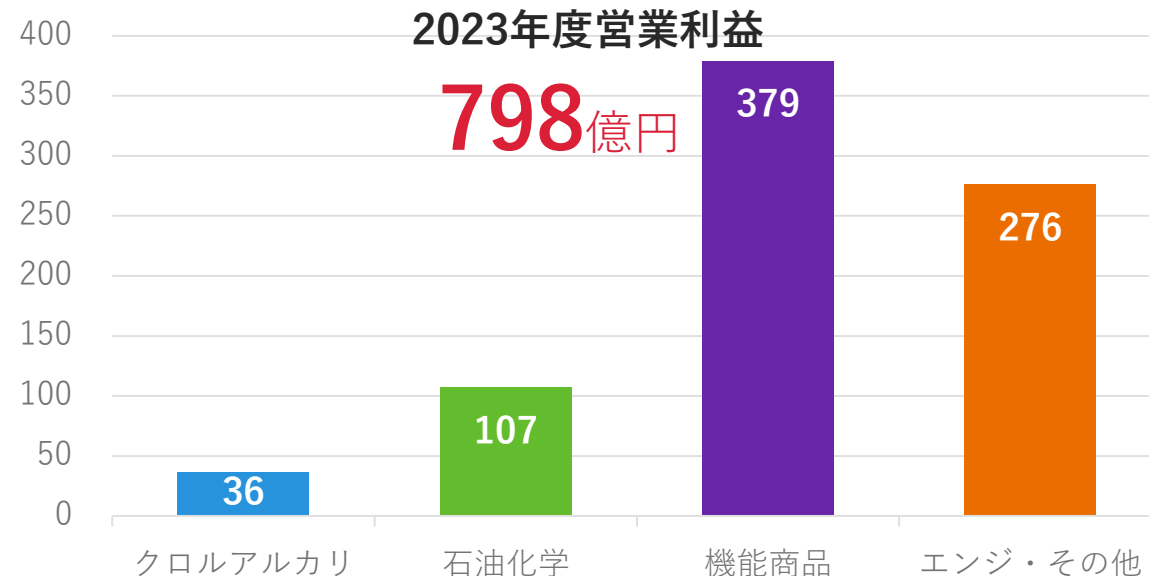
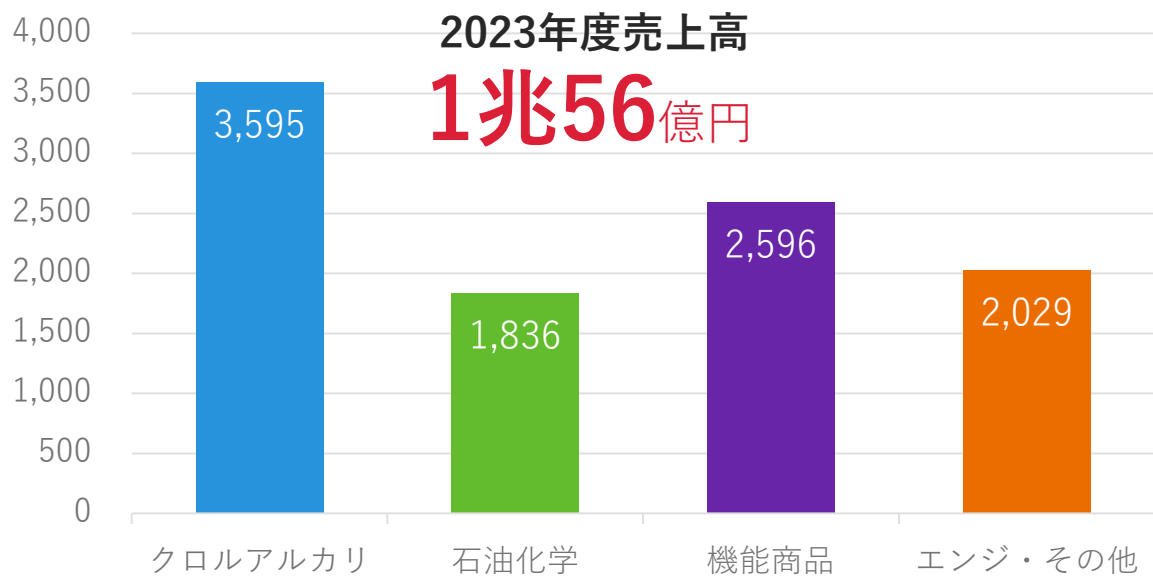
■ 創業期のソーダ工業から石油化学への進出、スペシャリティ分野への挑戦によって総合化学メーカーとして着実にステップアップ

	1935年～ 創業期	無機化学	苛性ソーダ 塩素 水素 等
	1960年代～ 石油化学への進出	有機化学	エチレン ポリエチレン クロロプレンゴム（CR） 塩化ビニル エチレンアミン 等
	1970年代後半～ スペシャリティ分野への挑戦	スペシャリティ	分離精製剤 ジルコニア ハイシリカゼオライト 石英ガラス 等

4つの事業から構成

■ 苛性ソーダや塩化ビニル樹脂といったコモディティから電子材料やバイオサイエンス関係のスペシャリティまで

クロル・アルカリ事業	石油化学事業	機能商品事業	エンジニアリング・その他
化学品・ウレタン・セメント	オレフィン・ポリマー	バイオサイエンス・高機能材料・ 有機化成品	水処理事業・プラント建設 運輸・倉庫、検査・分析、 情報処理事業など
“ソーダ工業”の リーディングカンパニー 豊かな社会生活に貢献	ナフサの分解を起点に、 半導体や医療分野等で 高付加価値化	絶えざる研究開発が生んだ 独自技術により、 高付加価値製品を製造	子会社を中心に展開



東ソーとは 主な製品・用途

日常生活に欠かすことのできない、多彩な製品を提供

クロル・アルカリ事業



給排水管用 塩化ビニル



自動車内装材用 MDI

石油化学事業

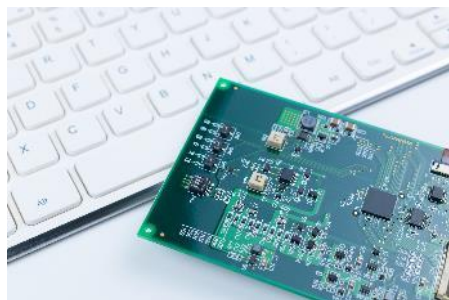


太陽電池封止材用 EVA



伝動ベルト用 クロロプレンゴム
※写真提供：バンドー化学

機能商品事業



PC・スマホ部材用 臭素、ターゲット材 等



診断装置・試薬

エンジニアリング・その他



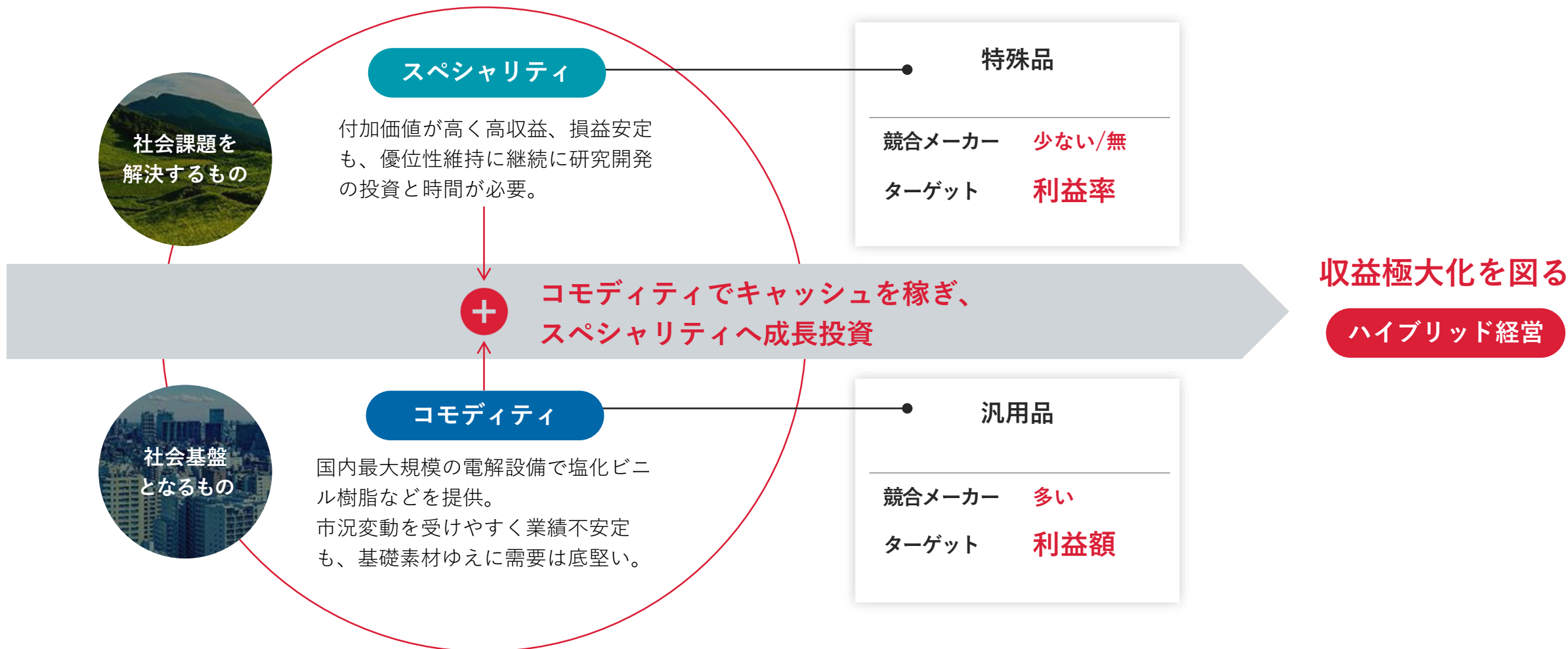
水処理プラントエンジニアリング事業
(オルガノ株式会社にて事業展開)

当社の特徴・強み

ハイブリッド経営
インテグレーション
技術の有効利用

ハイブリッド経営

■ 汎用品を中心とする「コモディティ」と
ナンバーワン、オンリーワン製品を中心とする「スペシャリティ」をバランスよく成長させる



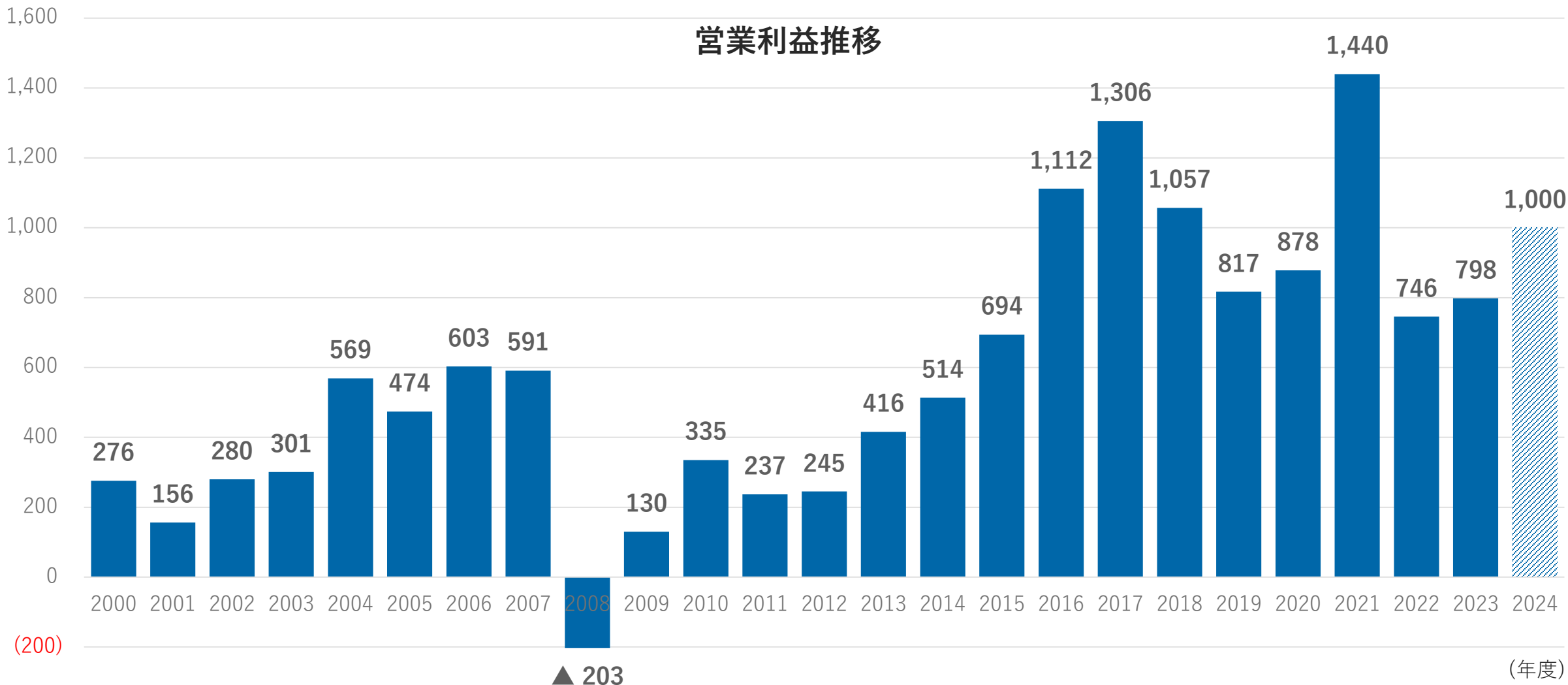
ハイブリッド経営 コモディティー スペシャルティ 製品区分

- 汎用品から特殊品まで幅広い製品群をラインナップ
- スペシャルティは世界トップシェアを誇る製品も多数

		コモディティ	スペシャルティ
主要事業分野	 機能商品事業		分離精製剤、免疫診断機器、試薬 石英ガラス、薄膜材料 エチレンアミン、臭素 ジルコニア、ハイシリカゼオライト
	 石油化学事業	エチレン、プロピレン ポリエチレン	CR、CSM PPS 石油樹脂 ペースト塩ビ
	 クロル・アルカリ事業	苛性ソーダ 塩化ビニル MDI (ウレタン原料)	HDI (ウレタン原料) ウレタン樹脂

ハイブリッド経営 営業利益の拡大に貢献

単位：億円



(200)

(400)

※2024年度は計画値

南陽事業所：当社の主力製品開発・製造・販売の起点

当社発祥の地であり（本店所在地）、最大の生産拠点



- 東京ドーム約65個分の広さ 約300万㎡（約100万坪）
- 化学メーカーの単一事業所として国内最大級
- 港湾設備・自家発電設備を完備（自家発電率100%）
- アジアへの輸出拠点（東京と上海がほぼ同等距離）



自家発電設備

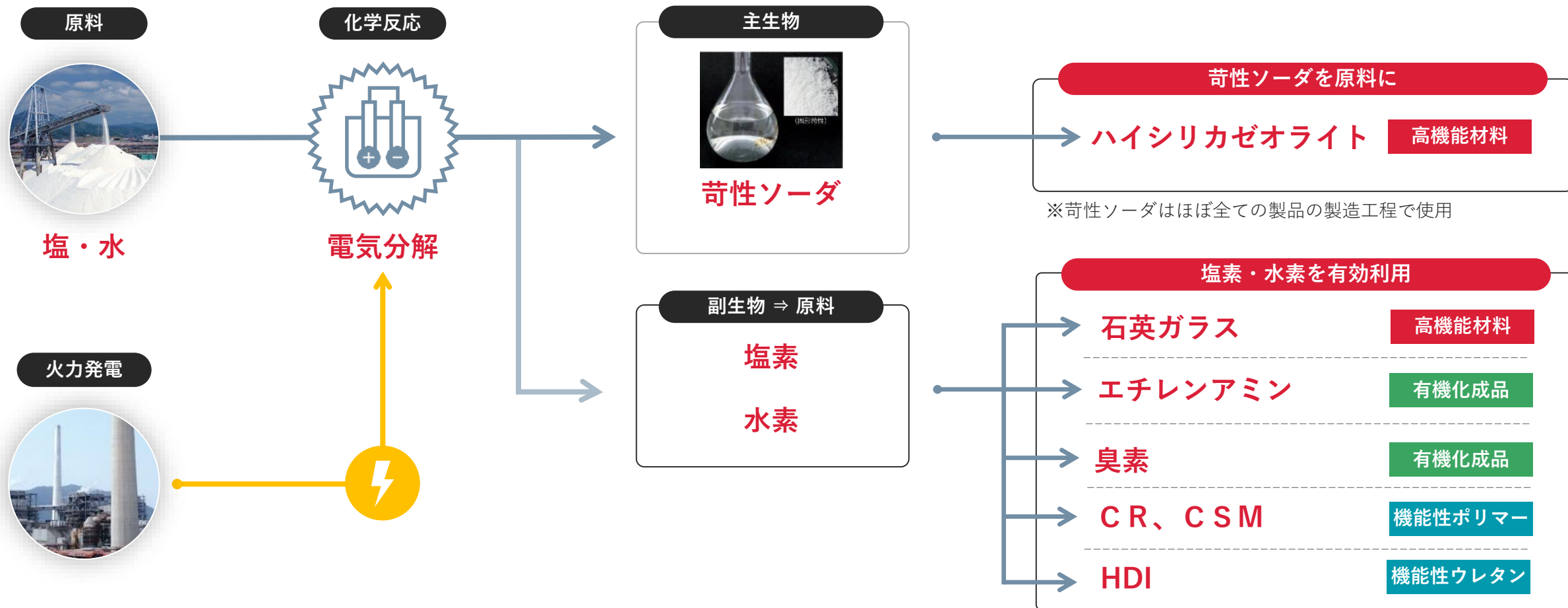


港湾設備



インテグレーション コモディティがスペシャリティ生産に貢献

■ 巨大なインフラ利用した苛性ソーダ、塩素がスペシャリティのコスト競争力の源泉に



液体クロマトグラフィー

「国内シェアナンバーワン」の
分析機器が誕生

バイオサイエンス

HLC®-8420GPC

高分子研究に欠かせない分子量測定機器



国内シェア
60~70%

HPLC用カラム

数百のグレードを
ラインナップ



分離技術



分析技術

診断機器・試薬

医療分野の
分析機器・試薬開発も展開

バイオサイエンス

糖尿病診断



免疫診断(ガン等)



測定装置AIA-CL2400

遺伝子検査(コロナ等)

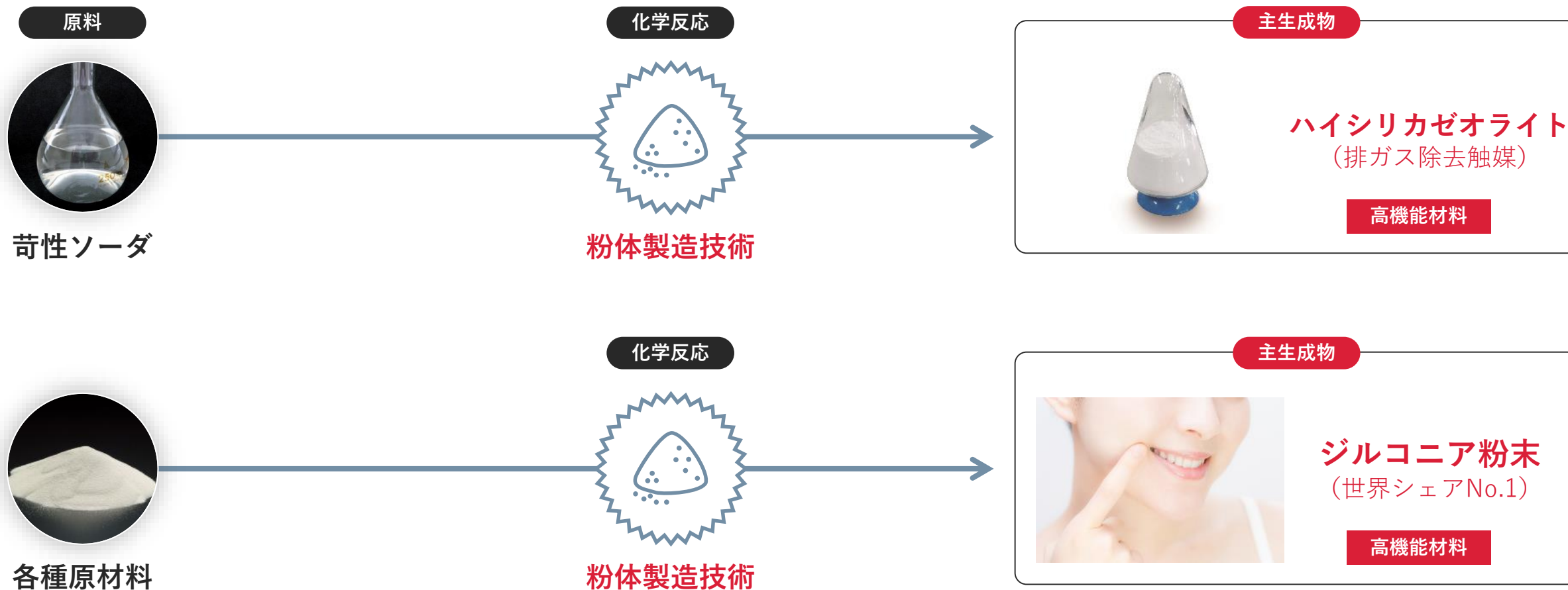


検査装置TRCReady-80

検査試薬

技術の有効活用 汎用製品・技術から付加価値高い「特殊製品」を生産

- 「汎用製品」から「特殊製品」が、さらに「粉体製造技術」の有効活用から歯の材料が
- 現有技術・知見を活かすことで開発期間・工数をミニマイズ化



中長期経営戦略

成長と脱炭素の両立で社会に貢献

東ソーハイブリッド経営®の深化 『成長』と『脱炭素』の両立

		コモディティ	スペシャリティ
前中計	定義	社会基盤を支える汎用品	社会課題を解決する特殊品
	競合関係	多い	少ない/無い
	ターゲット	利益額	利益率
	コモディティ、スペシャリティをバランスよく成長させる		



深化



中長期	目的	安定供給の維持	成長
	経営資源	○	◎
	目標	脱炭素と利益維持	能力増強・新規事業育成

2030年度スペシャリティ営業利益1,000億円、GHG排出量30%削減※へ

※2018年度比

成長加速を支えるスペシャリティ 2030年度営業利益目標 1,000億円

- 広範な事業分野でスペシャリティ製品を強化し営業利益を増額していく
- 2023-2024年度は顧客在庫調整が利益を押し下げ、一時的に営業利益は減少
- 高機能材料事業を中心に2025年度以降の利益拡大に向け遅滞なく成長投資を実施中

	2022年度	構成 比率	2023年度	構成 比率	2024年度	構成 比率	2030年度	構成 比率
	実績		実績		計画		目標	
バイオサイエンス	190 億円	29%	195 億円	40%	184 億円	35%	250～350億円	25-30%
高機能材料	192 億円	29%	96 億円	20%	113 億円	22%	400～500億円	40-50%
有機化成品	142 億円	22%	88 億円	18%	119 億円	23%	200～250億円	20-25%
機能性ポリマー 機能性ウレタン	132 億円	20%	103 億円	21%	109 億円	21%	150～200億円	15-20%
スペシャリティ合計	655 億円	100%	482 億円	100%	525 億円	100%	1,000 億円	100%
全社合計	746 億円		798 億円		1,000 億円		検討中	

事業部門別方針 スペシャルティ営業利益1,000億円を目指して

事業部門	主な分野、製品	方針
バイオサイエンス	計測分野 (<u>分離精製剤</u> 等)	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオ医薬品分野への分離精製剤拡販 ● SkillPakの拡販、連続クロマトビジネスの確立
	診断分野 (免疫診断機器、試薬等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国でのAIA-CLの上市と試薬の拡販 ● POCT市場への参入
高機能材料	<u>石英ガラス</u>	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムリーな能力増強による半導体成長需要の取り込み
	薄膜材料	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置・デバイスメーカーとの関係強化による拡販(<u>GaNターゲット</u>等)
	ジルコニア	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯科材料のシェア維持+販売地域拡大 ● 新規用途展開(SOEC等)
	ハイシリカゼオライト	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境規制対応の高機能グレード拡販 ● 製品ポートフォリオ拡大(CN触媒用ゼオライト等)
有機化成品	エチレンアミン	<ul style="list-style-type: none"> ● 余剰EDAを有効活用(需要旺盛なTETAを増産)
	臭素・難燃剤	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界需要に合わせた規模拡大
	新規開発品	<ul style="list-style-type: none"> ● 有望技術を大きく拡大(<u>CO₂回収アミン</u>等)
機能性ポリマー 機能性ウレタン	クロロプレングム等	<ul style="list-style-type: none"> ● 能力増強を検討
	HDI、HDI誘導体等	<ul style="list-style-type: none"> ● 需要伸張に合わせた拡販、技術開発による差別化

赤字記載の製品を次ページ以降で説明

分離精製剤(計測分野)

- バイオ医薬品等の研究開発・製造時に不可欠
- 抗体医薬品、核酸医薬品精製の需要拡大に対応
- 分離精製剤は当社主力製品のひとつ



TSKgel®

TSKgel® SuperQ-5PWは
核酸医薬精製の
“ゴールド・スタンダード*”

TOYOPEARL®

*当社呼称の「事実上の標準基準」
= デファクト・スタンダード

分離精製剤製造設備 能力増強を相次いで決定

投資額

約**300**億円

生産能力

倍増

※投資額、生産能力は2案件の合計

**2025年3月、2027年6月
商業運転を開始**

石英ガラス（素材・加工）

- 不純物を嫌う半導体製造プロセスに不可欠
- 洗浄、熱処理、エッチングなど前工程の製造装置や消耗品に使用
- 半導体の微細化/多層構造化に伴い需要は今後も増大
- 当社は半導体及び装置メーカーと強固な関係をもち認定材を多くラインナップ

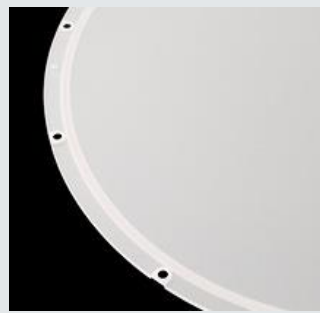
半導体装置向け石英部品(例)



ポート



プレート



リング



チューブ

2019～2024年度

素材・加工

段階的な能力増強を実施

投資額

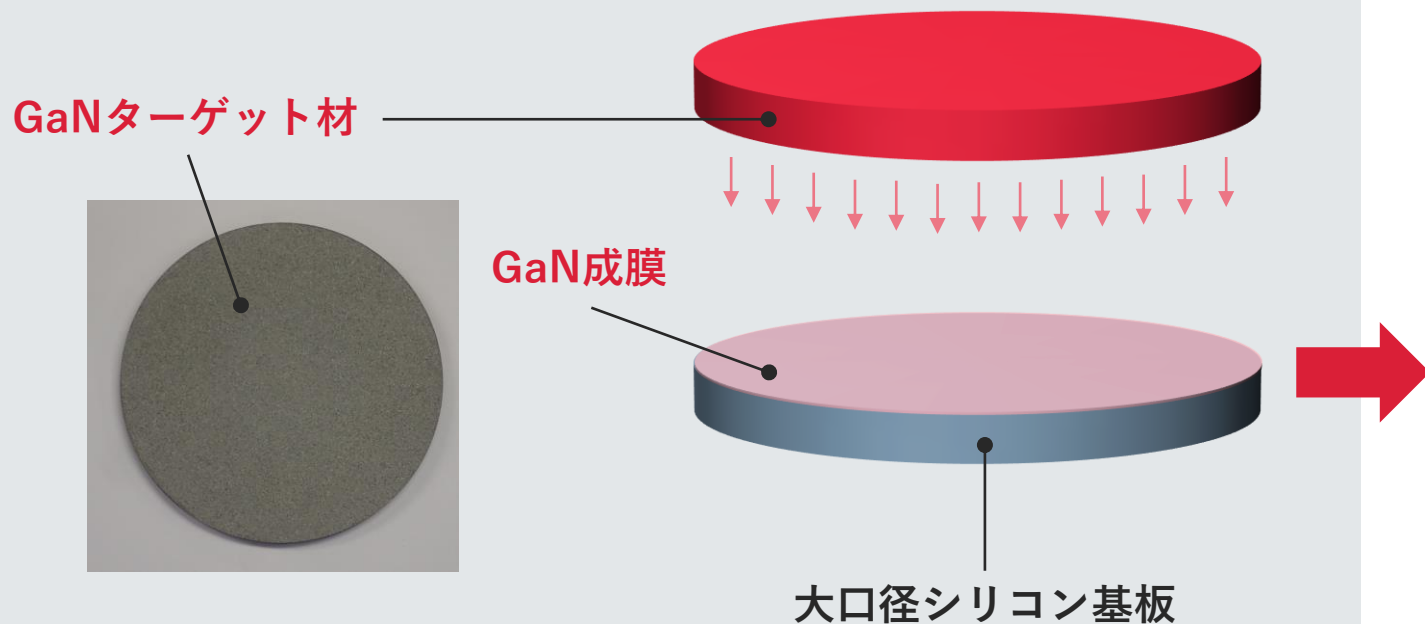
約**160**億円

※能力は非開示

2025年度以降
大きな利益貢献を期待

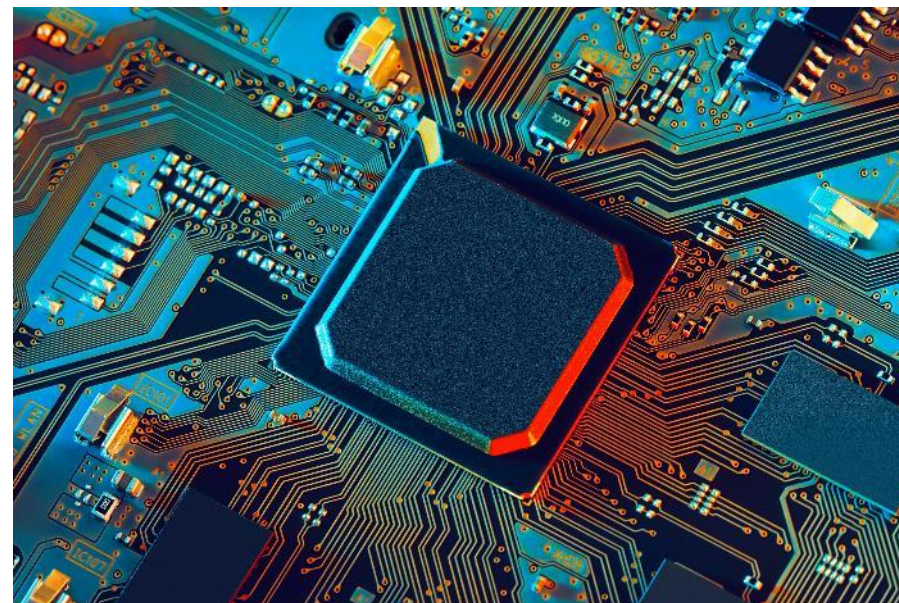
窒化ガリウムターゲット（GaN）

- 高品質でありながら低コストなスパッタ法に使用
- 装置メーカー複数社での採用が決定
- パワー半導体、汎用LED、 μ LED向け材料への採用増加を目指す



パワー半導体市場の拡大へ
コスト低減効果による貢献を期待

パワー半導体



CO₂回収アミン

- NO_x耐性に優れ、熱分解しにくい高耐久剤を開発済
- 実装の進展が期待されるCO₂回収装置をいち早く導入
- 本プラント実績を基に、剤の外販を積極展開

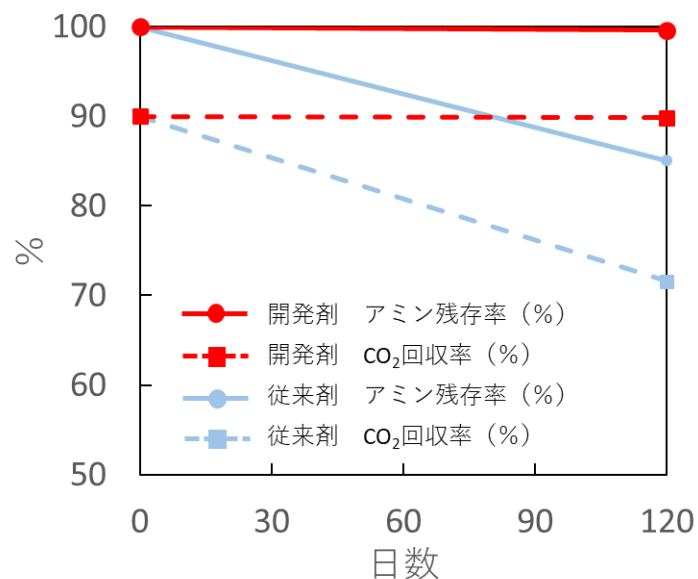
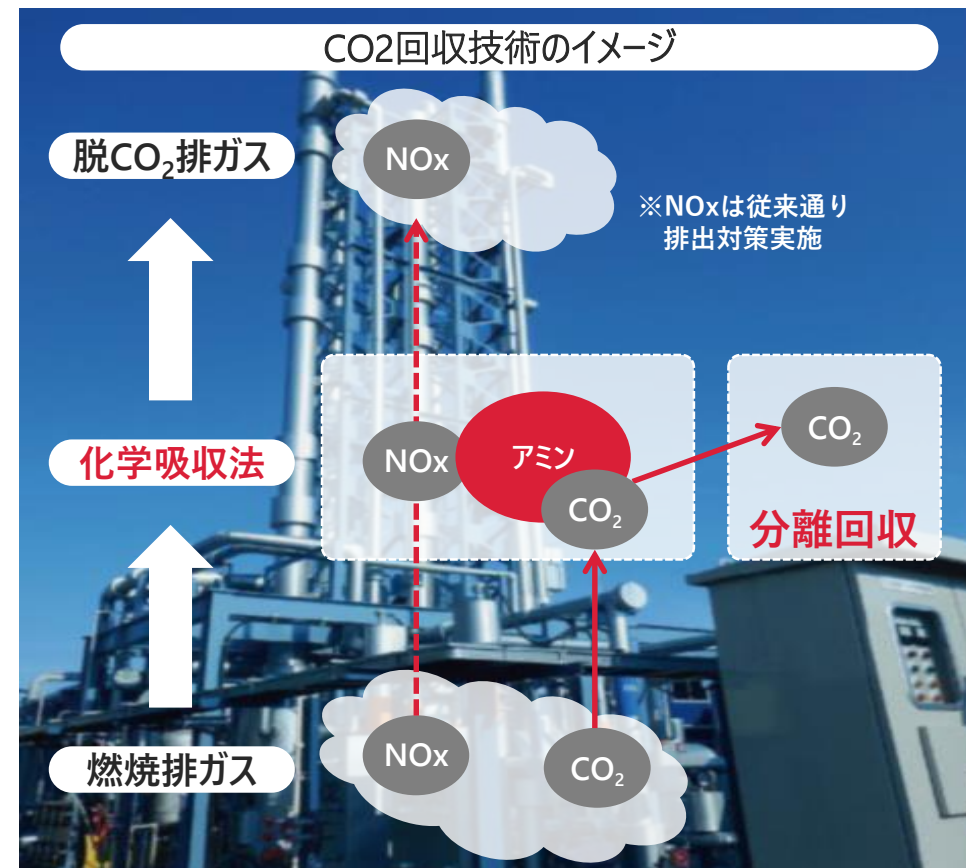


図.当社開発剤のベンチ連続試験結果

120日の長期運転試験にて
 ・アミン分解無し
 ・CO₂回収率 > 90%を維持

当社開発のCO₂回収アミンは幅広い燃焼排ガスからのCO₂回収に適用。
 長期安定使用、回収エネルギーの低減、運用コスト低減などメリット大。



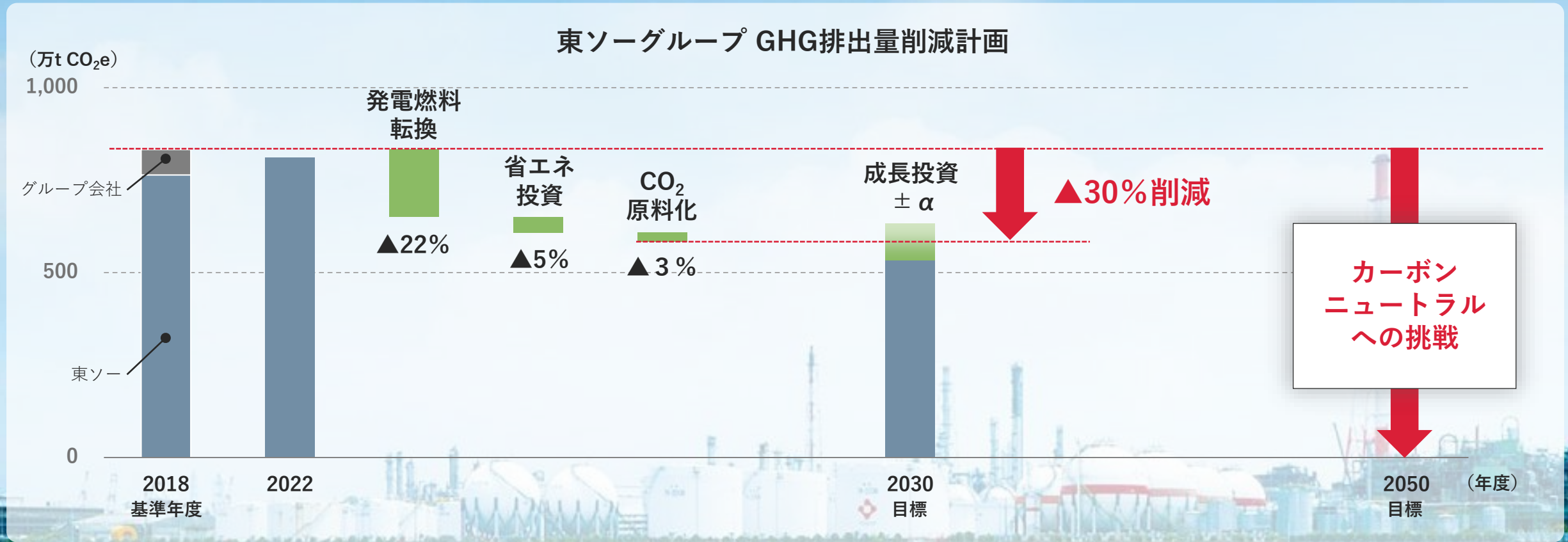
2024年秋

南陽事業所に設備導入決定

『脱炭素』へ向けて - GHG排出削減方針 -

当社グループ全体の温室効果ガス（GHG）削減方針

- 2030年度までに**2018年度比30%削減**
- 2050年**カーボンニュートラルへの挑戦**



『脱炭素』へ向けて 2030年度までに1,200億円の投資を計画

- 約600億円の投資案件は意思決定し、実行中
- 投資判断※未実施の案件は採算基準を満たすよう内容を精査中

	削減率	具体的施策	投資判断	進捗・課題
発電設備の燃料転換	22%	バイオマス専焼可能なボイラの導入	2022年7月	2026年4月運転開始予定
		既存ボイラでのバイオマス混焼増	逐次	関連設備の計画的投資を実施中 各種バイオマスの燃焼実験 各種バイオマスの安定調達検討
省エネ投資	5%	ガスタービン追設	未	採算性を考慮し投資内容を再検討中
		電解槽の省エネ改造	逐次	南陽・四日市とも計画的に実施中
		最新鋭タービン導入	2017～2020年	老朽化設備の更新時に実施
CO ₂ の原料化	3%	COプラント(ウレタン原料合成)でのCO ₂ 原料化	2023年4月	2024年秋頃運転開始予定

※投資判断は内部炭素価格込みで判断 (ICP = 6,000円/t-CO₂)

人的資本を尊重する社風

東洋経済新報社「CSR企業総覧2024」

離職率が低い大企業※ランキング

31位

※従業員1,000人以上

社内環境

所定時間外
労働時間

16.1時間/月

年休
取得率

89.5%

離職率

1.1%

入社三年後の
定着率

94.5%

男性の
出産育児休暇
取得率

99.5%

男性の
育児休業
取得率

70.4%

*2023年度実績

安全への取り組みを重視する社風

- 社長が年2回、製造現場で社員と対話（過去10年で延べ6000人以上）
- 安全に対する考え方を共有
- 従業員のモチベーションアップにも貢献
- プラント保全や安定操業にDXを活用



南陽事業所訪問



四日市事業所訪問

安全教育の徹底とDXの活用



被液危険体験・安全装置作動体験装置



液飛散危険体感装置



DX活用事例(ドローン、タブレット等)

「成長」と「脱炭素」の両立を目指す研究体制・人員の整備

- 「ライフサイエンス」「電子材料」「環境・エネルギー」を重点3分野として積極的な研究開発投資を実施
- 各地研究施設を最新鋭の設備へ順次リニューアル
- 高度専門職制度(フェロー制度)を新設し、人事面の処遇変更にて研究人員のモチベーションを向上

研究人員*

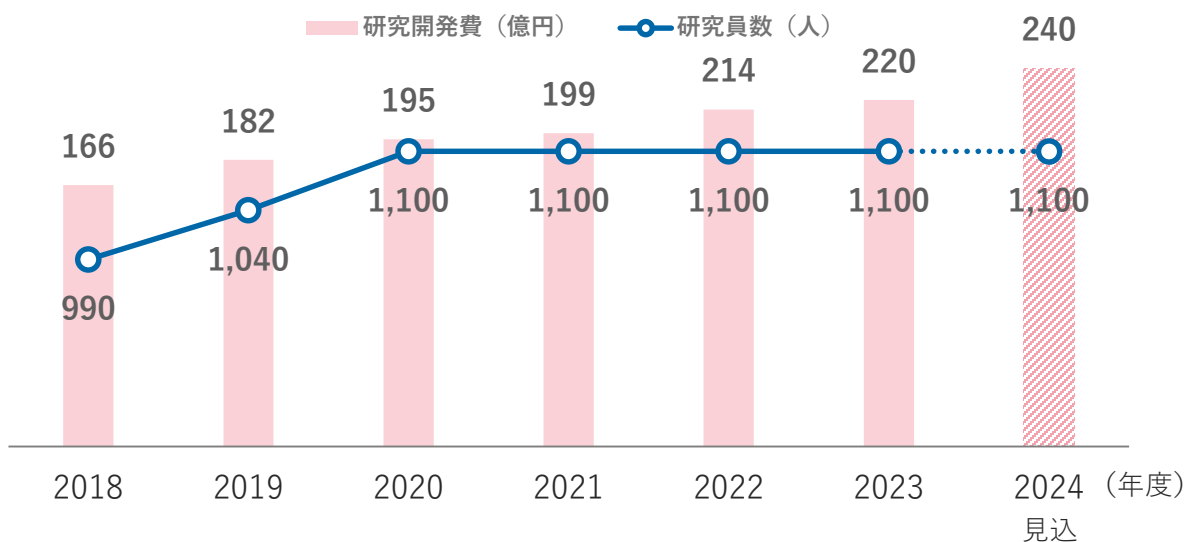
約**1,100**人

研究開発費*

約**240**億円

*2024年度見込

研究開発費と研究員数の推移



南陽事業所(山口県周南市)

2020年リニューアル完了



四日市事業所(三重県四日市市)

2019年リニューアル完了



東京研究センター(神奈川県綾瀬市)

2026年リニューアル予定



最新投資インデックス採用：2024年4月「iSTOXX MUTB Japan プラチナキャリア 150 インデックス※」採用

ESG投資インデックス



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数



2023
Sompo Sustainability Index



※人的資本投資に積極的な企業で構成されるインデックス

サステナビリティ社外評価

- CDP2022
「気候変動B」「水セキュリティB」評価



- EcoVadis社
サステナビリティ調査「シルバー」評価



- 健康経営優良法人2024認定



- プラチナくるみん認定



当社株式の魅力

業績、安定配当を支える強固な財務体質

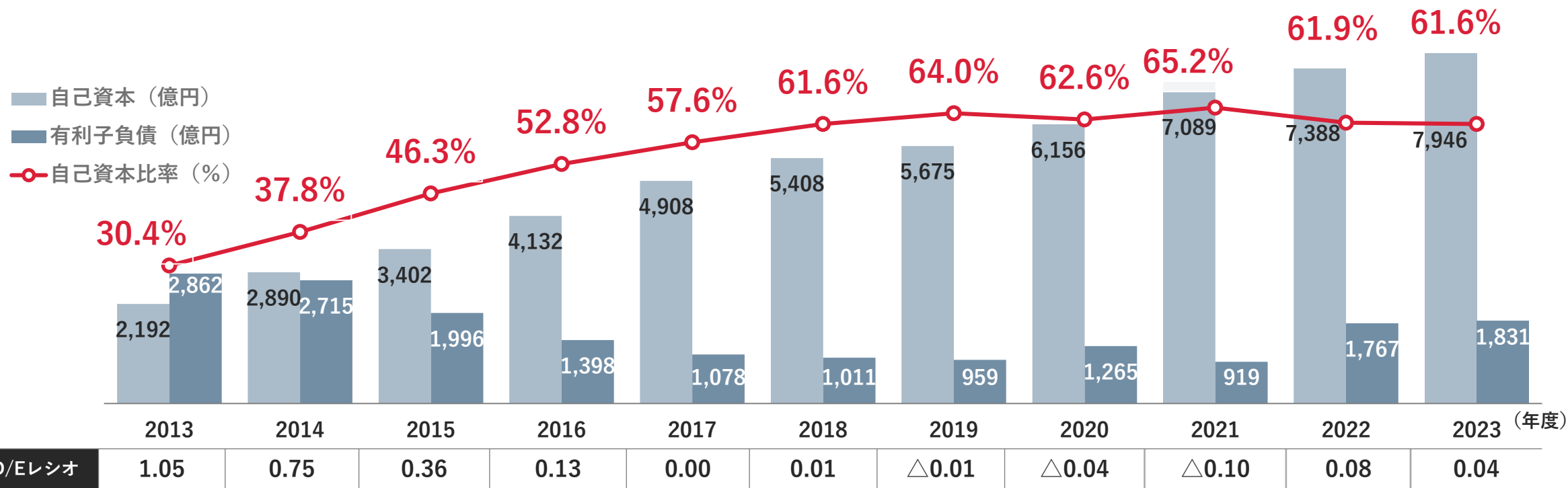
営業利益計画 2024年度売上高1兆900億円、営業利益1,000億円

- コモディティ製品のアジア市況低迷などにより中計目標には未達も増益傾向
- 為替が円安進行の場合は増益の可能性も(ドル為替感応度：1円の円安で+6~7億円の改善)

		2022年度		2023年度		2024年度 (現中計最終年度)	2024年度 (ご参考)
		実績		実績		業績予想	当初目標
売上高		1兆644億円		1兆56億円		1兆900億円	1兆1,600億円
営業利益		746億円		798億円		1,000億円	1,500億円
営業利益率		7.0%		7.9%		9.2%	10%以上
ROE		7.0%		7.5%		-	10%以上
前提	ドル	135.5円/USD		144.6円/USD		145円/USD	125円/USD
	ユーロ	141.0円/EUR		156.8円/EUR		158円/EUR	135円/EUR
	ナフサ	76,625円/KL		69,100円/KL		75,000円/KL	75,000円/KL

近年の取り組みにより安定配当の源泉となる強固な財務体質を確立

	2013年度		2023年度
自己資本比率	30.4%	➔	61.6%
ネットD/Eレシオ	1.05	➔	0.04 (実質無借金)



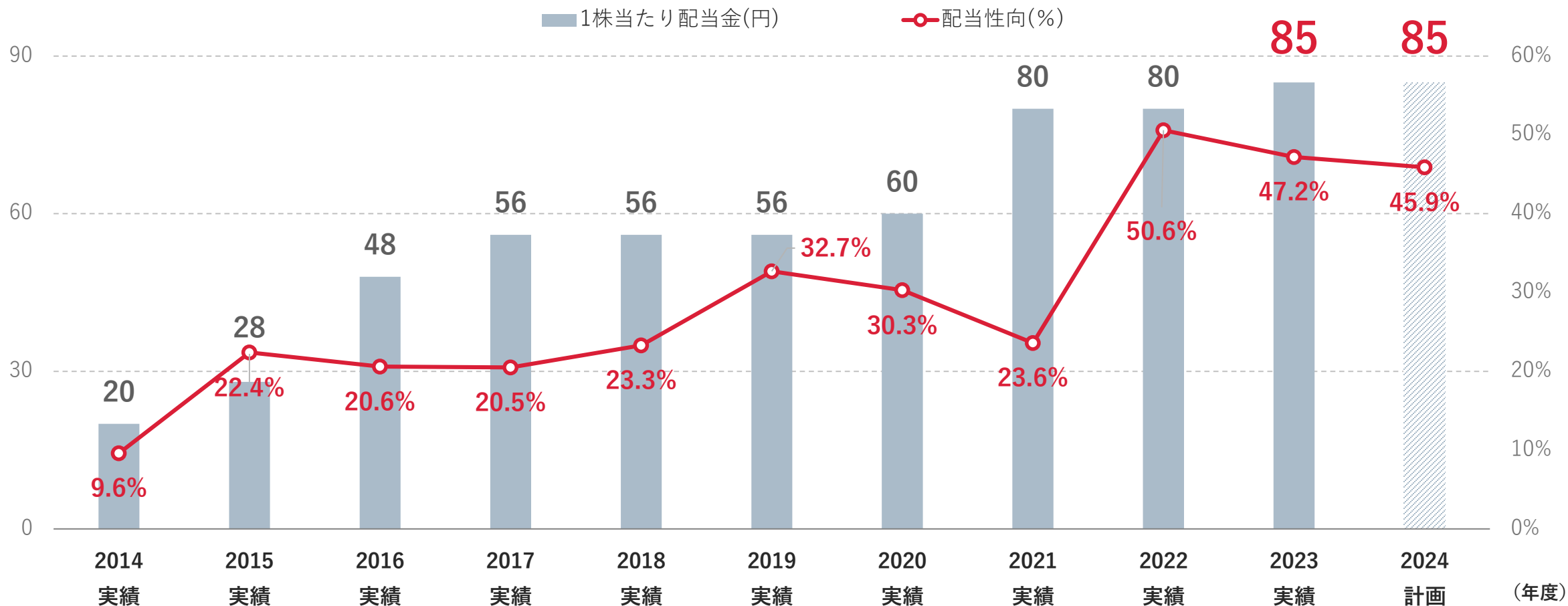
株主還元方針と配当実績 2009年度以降、配当は維持又は増加傾向

■ 安定配当を基本とし、配当性向は30%を目安とする

■ 2024年度は前年度に引き続き1株あたり**85**円の配当を計画する

予想配当利回り **4.5%**

(2024年8月末日終値)



※2019年度：自己株100億円取得

< 補足資料集 >

多様な製品群

区分	セグメント	サブセグメント	主な製品	用途例
スペシャルティ	機能商品	バイオサイエンス	分離精製剤(TOYOPEARL) 分子量測定機器・カラム(GPC) 免疫診断機器・試薬(AIA) 遺伝子検査機器・試薬(TRC)	バイオ医薬品研究開発・製造用 高分子の分子量・分子量分布の測定 ホルモン、心疾患、腫瘍(がん)などの検査 新型コロナウイルス等の検査
		高機能材料	ハイシリカゼオライト ジルコニア 石英ガラス・薄膜材料(ターゲット材) 二酸化マンガン	自動車排気ガス浄化触媒 歯科材料 半導体製造装置用素材、半導体などの成膜材料 アルカリ乾電池/リチウムイオン二次電池の正極材用原料
		有機化成品	エチレンアミン 臭素・臭素誘導体 重金属処理剤	農薬原料、エポキシ樹脂硬化剤(船底塗料、電子部品の基板) 難燃剤(電子部品の基板) 飛灰、排水処理
	石油化学	ポリマー(機能性ポリマー)	合成ゴム(CR) 合成ゴム(CSM) PPS等	自動車部品、医療用手袋、接着剤 自動車部品、ゴムボート、エスカレーター手すり スマホ筐体、自動車部品
	クロルアルカリ	機能性ウレタン	HDI PCD(ポリカーボネートジオール) 各種エラストマー製品	塗料・接着剤の硬化剤 合成・人口皮革(自動車シート等) 給紙ロール、時計バンド
コモディティ	石油化学	オレフィン	エチレン・プロピレン キュメン BTX(ベンゼン、トルエン、キシレン)	ポリエチレン、塩ビモノマーなどの原料 自動車部品(ポリカーボネート樹脂原料) 溶剤など
		ポリマー(ポリエチレン)	EVA(エチレン・酢酸ビニル共重合体) 高密度ポリエチレン 低密度ポリエチレン	太陽電池封止材 半導体薬液容器 包装用フィルム、ラミネート
	クロルアルカリ	化学品	苛性ソーダ 塩化ビニル 重曹 高度晒し粉等	アルミヤ紙・パルプの製造、排水処理、繊維処理、石鹼 パイプ、窓サッシ、床材 胃腸薬、温浴剤 プール消毒
		ウレタン	MDI	住宅建材、化学繊維、自動車シート
		セメント	セメント	建設資材
その他	エンジニアリング	オルガノ株式会社 洋林建設等	水処理機器・プラント プラントエンジニアリング会社	排水浄化、半導体向け超純水製造
	その他	東ソー物流 東ソーニッケミ等	物流部門 商社部門	

日常生活に深く入り込む東ソーの製品（家庭に）

「国内最大級の電解設備」を起点に多様な化学反応を起こし、日常生活に多様な製品を提供



入浴剤・洗濯洗剤 **重曹、芒硝**

壁紙・消しゴム **ペースト塩ビ**

TV、スマホ等 **臭素、PPS**

乾電池 **電解二酸化マンガン**

冷蔵庫 **MDI、アミン触媒**

菓子袋 **ポリエチレン**

広く社会・生活を下支えする東ソーの製品（街中に）

「国内最大級の電解設備」を起点に多様な化学反応を起こし、社会・生活を下支えする製品を提供



プール

高度さらし粉

自動車

合成ゼオライト、MDI

建築外装材・防水材

HDI、MDI

給排水管

塩化ビニル

道路

セメント、エチレンアミン

パイプ、継手用塩化ビニル樹脂



耐久性・リサイクル性に優れ、インフラ、家庭用水道管、農業用パイプ等に使用
他プラスチックより石油資源を節約、製造時のGHG排出削減に貢献



窓サッシ用塩化ビニル樹脂



複層ガラスと組み合わせた樹脂サッシ
断熱性・気密性に優れ、冷暖房効率を改善し、GHG排出量削減に貢献



建材用断熱材用ウレタン原料

(MDI)



建材用断熱材ウレタン発泡材の主原料
建築物の断熱性向上により、冷暖房効率を改善し、GHG排出量削減に貢献



飛灰・排水用重金属処理剤



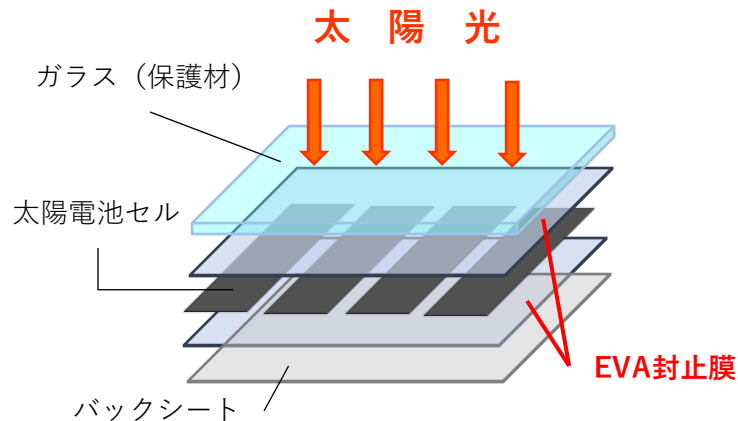
焼却炉から出る飛灰、工業排水中の重金属処理

環境流出を防止し、公害病のない社会の形成に貢献



太陽電池封止材用EVA

(エチレン酢酸ビニル共重合体)



透明性・耐候性・柔軟性・接着性に優れ、太陽電池セルの封止材・保護材として機能

再生可能エネルギーの使用を促進し、GHG排出量削減に貢献



自動車排ガス用浄化触媒

ハイシリカゼオライトHSZ®



高い耐熱性・耐酸性を有し、触媒や疎水性吸着材として使用

自動車排ガス中の有害物質である窒素酸化物・未燃炭化水素の除去・浄化に貢献



医療向け診断装置および試薬



がん・甲状腺・婦人科・心疾患などの非感染症やCOVID-19・B型肝炎などの感染症の検査

■ 早期の診断・診療を実現し、世界中の人々の健康の維持、疾病リスク軽減に貢献



分離精製剤 TOYOPEARL®



バイオ医薬品（抗体医薬品やワクチン）の原薬などの精製工程で使用

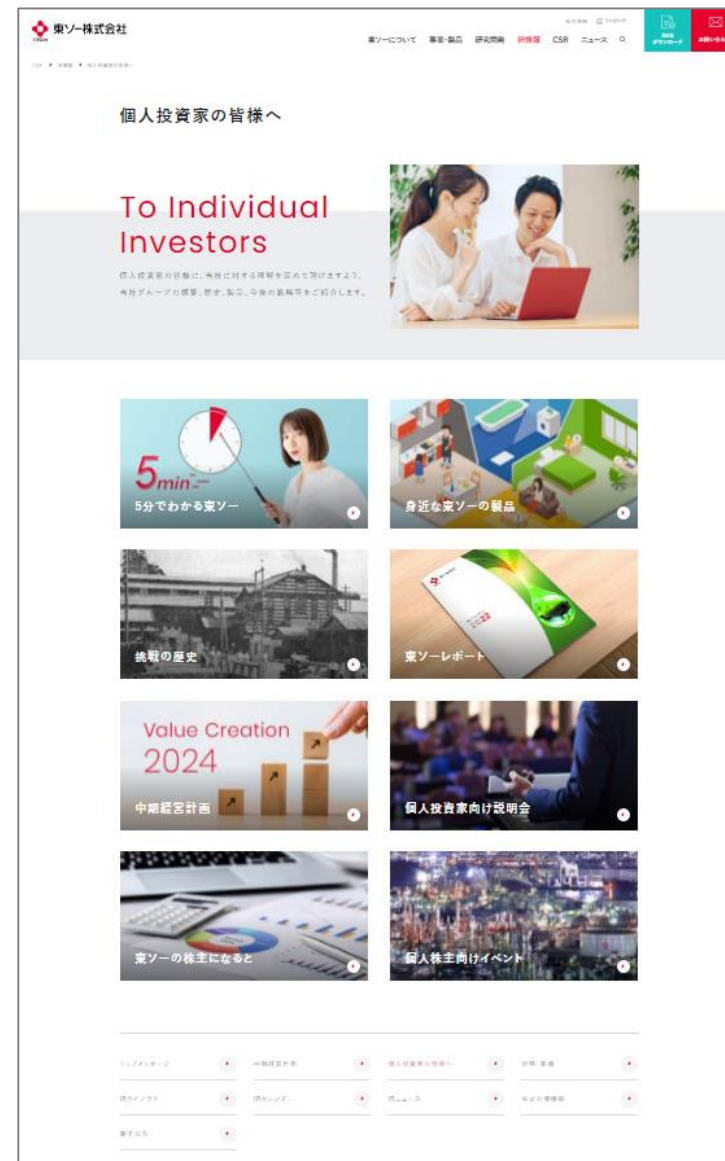
精製工程は医薬品の不純物除去の役割を持つ

高性能化・安定生産により、医薬品の品質向上・安定供給に貢献



当社 [WEBサイト](https://www.tosoh.co.jp/ir/) にて
適時開示資料等IR情報を
掲載しております。

<https://www.tosoh.co.jp/ir/>



ご清聴ありがとうございました。

“明日のしあわせを化学する”

世の中のしあわせの輪を広げていくために、
私たち東ソーは、化学の領域を日々革新していくことで、
よりよい明日に向けて、社会に貢献していきます。



TOSOH

東ソー株式会社

東証プライム

4042